



臨床研究のための クレアチニンデータ解析 Rで挑む！ 急性腎障害の検出 eGFRスロープの算出

日時：2025年6月22日（日）9:00-12:00
会場：パシフィコ横浜ノース 2階「G214」
会費：無料！（総会参加費用は別途お支払いください）
対象：日本腎臓学会会員のうち、
臨床研究をされている方、解析でお悩みの方
必要物品：ご自身のノートパソコン（OS不問）
PCスキル：基本的な操作（R初心者OK！）

お申込みは下記URLあるいはQRコードより
2025年4月30日まで！

<https://x.gd/aH5lv>



臨床研究やデータ解析に興味をお持ちの皆様へ

日々の診療で測定されるクレアチニンのデータを解析してみませんか？

腎臓診療で欠かせないのが腎機能の測定です。皆様の施設にもある腎機能、特にクレアチニンのデータを用いて、臨床研究をやってみませんか？日本腎臓学会 臨床研究推進小委員会が企画した本ハンズオンセミナーでは、「どのような処理が行われているかを実際に見て理解する」ことを主眼におき、時系列のクレアチニンデータから急性腎障害（AKI）の発生を検出する方法と、eGFR slopeを算出する方法を扱います。

今回使用する解析ソフトウェアは、無料で利用可能な「R」です。

講師の先生方

宮本 佳尚 先生 東京大学 特任講師

経時に記録されたクレアチニン値をRで可視化と解析するハンズオンです。AKIとCKD研究の第一歩を踏み出しましょう！



岩上 将夫 先生 筑波大学 教授

臨床データからAKIが同定できると、AKIの記述研究、リスク因子の同定、予後の検討など様々な研究が可能になります。是非ご参加を！



大島 恵 先生 金沢大学 特任准教授

eGFRスロープを統計学的に正しく計算することで解決できる臨床課題について、事例を用いて解説します！



実習内容の例

- ・パッケージの読み込み
- ・データセットの読み込み
- ・eGFRの計算
- ・経時的なクレアチニン、eGFRデータの可視化
- ・急性腎障害の判定アルゴリズムの実装
- ・線形混合効果モデルを用いたeGFR slopeの算出

※当日変更となる可能性があります

本ハンズオンセミナーのポイント

- ▶ 無料で使えるRを使用！
- ▶ サンプルデータ・解析プログラムを提供！
- ▶ 事前学習とハンズオンでしっかり学べる（参加者には学習資料をお送りします）
- ▶ 4-5名に対し1-2名のチューター体制で安心

こんな方におすすめ

- ▶ 何らかの臨床研究をされている方や、解析でお悩みの方を対象としています
- ▶ R初心者の方、大歓迎です！R初心者には、予習用の書籍をご案内いたします

参加可能数

25 名まで！

申し込み順ではなく、地域性・年代などを考慮し参加者を決定します。

お申込み

2025年4月30日までに、以下URLあるいはQRコードよりお申込みください。

<https://x.gd/aH5lv>

ご参加の方には別途、事前学習資料をお送りいたします。当日は、ご自身のノートパソコンをお持ちください。

